

# 不動産市場動向セミナーを開催

アセットブレインズ仙台 ネットワーク(事務局・仙

台市泉区上谷刈1の7の

35 佐々木正之事務局長

は、今月13日に仙台市青葉

区春日町のせんだいメデイ

アテーク7階スタジオシア

ターで「不動産市場動向セ

ミナー2022イン仙台」

を開催した。新型コロナウイルス

イルスの感染対策のため、

会場への入室者は約70人に

とどめ、他の聴講希望者に

は動画で講演内容を配信し

た。

2部構成で行われたセミ

ナーの第1部では、元リク

ルート仙台支社長の佐々木

篤シーカースプランニング

代表取締役が「仙台圏居住

用不動産各ジャンルの最近

の市場動向」について解説

した。佐々木代表は21年か

ら今年第1四半期の仙台圏

居住用不動産市場について

「旺盛な需要と金融機関の

積極的な融資環境を背景に

成約状況は好調継続し、価

格は上昇傾向にある」と話

すとともに、この2年間の

傾向について「コロナ

禍”は居住用不動産には追

い風、事業用不動産には向

かい風となり、昨年から

コスト上昇の影響が住宅不

動産市場でも顕在化し始め

ている」と説明した。

また、第2部では同ネッ

トワークの佐々木事務局長

が「仙台・東北圏の投資用・

事業用不動産の最新事情2

022SPRING編」と

題して講演。佐々木事務局

長は昨年、東北圏でJリ

トが新規取得したのは仙台

市泉区のレジデンス1件に

とどまった事例を挙げ、仙

台圏の事業用不動産取引状

況について「新型コロナウイルス

イルスの影響でJリートや

ファンド会社を中心とした

中央資本の投資優先順位と

して著しく低下している”

と話した。さらに、物件不

足の影響で仙台圏の収益物

件の物件価格が上昇し利回

りは低下する「高止まり状

態”が継続していることを

説明。「投資対象が小規模

化していることで、宮城県

資本の投資意欲が旺盛であ

り、金融環境を踏まえると、

しばらくは衰えないだろう

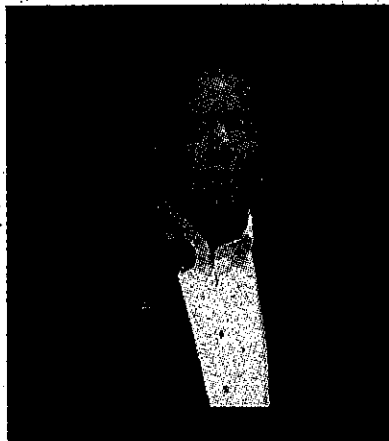
との」との見方を示した。

## 物件不足に起因し取引価格高止まり

アセットブレインズ  
仙台ネットワーク



シーカースプランニングの佐々木代表



佐々木事務局長

い風、事業用不動産には向かい風となり、昨年からコスト上昇の影響が住宅不動産市場でも顕在化し始めている」と説明した。

また、第2部では同ネットワークの佐々木事務局長が「仙台・東北圏の投資用・事業用不動産の最新事情2022SPRING編」と題して講演。佐々木事務局長は昨年、東北圏でJリートが新規取得したのは仙台市泉区のレジデンス1件にとどまった事例を挙げ、仙台圏の事業用不動産取引状況について「新型コロナウイルスイルスの影響でJリートやファンド会社を中心とした中央資本の投資優先順位として著しく低下している」と話した。さらに、物件不足の影響で仙台圏の収益物件の物件価格が上昇し利回りは低下する「高止まり状態」が継続していることを説明。「投資対象が小規模化していることで、宮城県資本の投資意欲が旺盛であり、金融環境を踏まえると、しばらくは衰えないだろうとの」との見方を示した。